

2 POP（骨盤臓器脱）と SUI（腹圧性尿失禁）に対する漢方治療

みやびウロギネクリニック

井上 雅

POP（骨盤臓器脱）やSUI（腹圧性尿失禁）は中高年女性に多く、妊娠や出産、加齢、閉経などで骨盤底筋が脆弱化、萎縮し、肥満、重労働などの負荷が骨盤底筋にかかることによりおこる。根治的には手術療法があるが、手術困難な症例や手術に難色をしめす症例も少なくない。このような患者に対し漢方治療はどうであろうか、文献的考察も含めて報告する。

POPの病態は漢方学的に気虚と腎虚と思われ、使用される漢方として、補中益気湯がある。補中益気湯は子宮下垂に適応があり、脆弱な骨盤底を強化する作用があると思われる。また、腎虚に対する八味地黄丸、牛車腎気丸なども有効と思われる。また、POPは便秘でいきむと増悪するので、大建中湯などでコントロールするとよい。また、陰部の違和感や夕方の下腹部が重い感じなどに対しては清心蓮子飲や駆お血剤を用いる。

SUIもPOP同様に骨盤底筋の脆弱によりおこる。以前、我々はSUI患者にたいし補中益気湯が有効との報告を行った。SUIは骨盤の脆弱化から生じるもので、症状自体が補中益気湯の証と考えられ、証を考慮せずとも有効率は61.5%と比較的高かった。さらに補中益気湯は虚証（痩せ型）むけの漢方であるので、痩せ型の人では肥満型の人より、客観的評価においても有意に改善した。注意点としては、補中益気湯の効用として、食欲増進作用があり、太ってしまうことがあるため、肥満型の人には体重増加に気をつけないといけない。肥満型の人にはダイエットの効果をあげるとされる漢方を用いるとよい。固太りタイプは防風通聖散を、水太りタイプは防己黄耆湯を用いている。また、麻黄附子細辛湯と葛根湯は麻黄によるエフェドリン作用があり、尿道括約筋の緊張を高める。また、麻黄附子細辛湯は附子の κ オピオイド作用性の神経系賦活作用により症状の改善があると報告されている。麻黄附子細辛湯は虚証の人向けで、葛根湯は実証の人向けである。

軽度のPOPやSUIに対し、保存的治療（骨盤底筋トレーニングやペッサリー装着など）は有効であり、漢方薬もその選択肢の一つとしてあげられる。さらに漢方薬は疾患だけに効果を発揮するものではなく、体全体を調整する役割も担っており、様々な症状を改善させる可能性がある。